

「NPO法人の活動と働き方に関する調査」

～ 調査へのご協力のお願い ～

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このアンケート調査は、NPO法人の活動と、有給職員やボランティアの働き方の実態を把握するため、労働政策研究・研修機構（※）が実施しております。今後の政策や、災害時の支援活動に関する提言を行うための基礎資料の作成および、学術研究を目的に実施するものです。

本調査は、全国のNPO法人1万2千団体を内閣府のNPO法人リストより無作為にサンプリングし、株式会社日本リサーチセンターに実査・集計業務を委託して行っております。また、日本NPO学会および日本NPOセンターにも、調査設計にご協力いただいております。

つきましては、ご多用中誠に恐縮に存じますが、**裏面の「調査の実施方法について」をご覧ください。**
上、調査にご協力のほどよろしくご願いいたします。

なお、ご回答頂きました内容は、すべて統計的に処理し、貴団体名やご回答内容等が他に漏れることは一切ございません。

本調査の趣旨や手順をご理解の上、何とぞご協力くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

2014年 7月 吉日

労働政策研究・研修機構
理事長 菅野和夫

【調査票の記入方法・実査内容・回収についての問い合わせ】

株式会社日本リサーチセンター 調査部 担当：萩原

電話：0120-921-409（フリーダイヤル）E-mail：npo@nrc.co.jp

受付時間：9：00～18：00（土日祝日を除く）

株式会社日本リサーチセンターは、労働政策研究・研修機構より当調査の実査・集計業務を委託されています。一般財団法人日本情報経済社会推進協会より個人情報の適切な取り扱いを行う事業者として、プライバシーマークの付与認定を受けています。



【調査票の趣旨・目的についての問い合わせ】

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 担当：小野、古俣

TEL: 03-5991-5147

受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00（土日、祝日を除く）

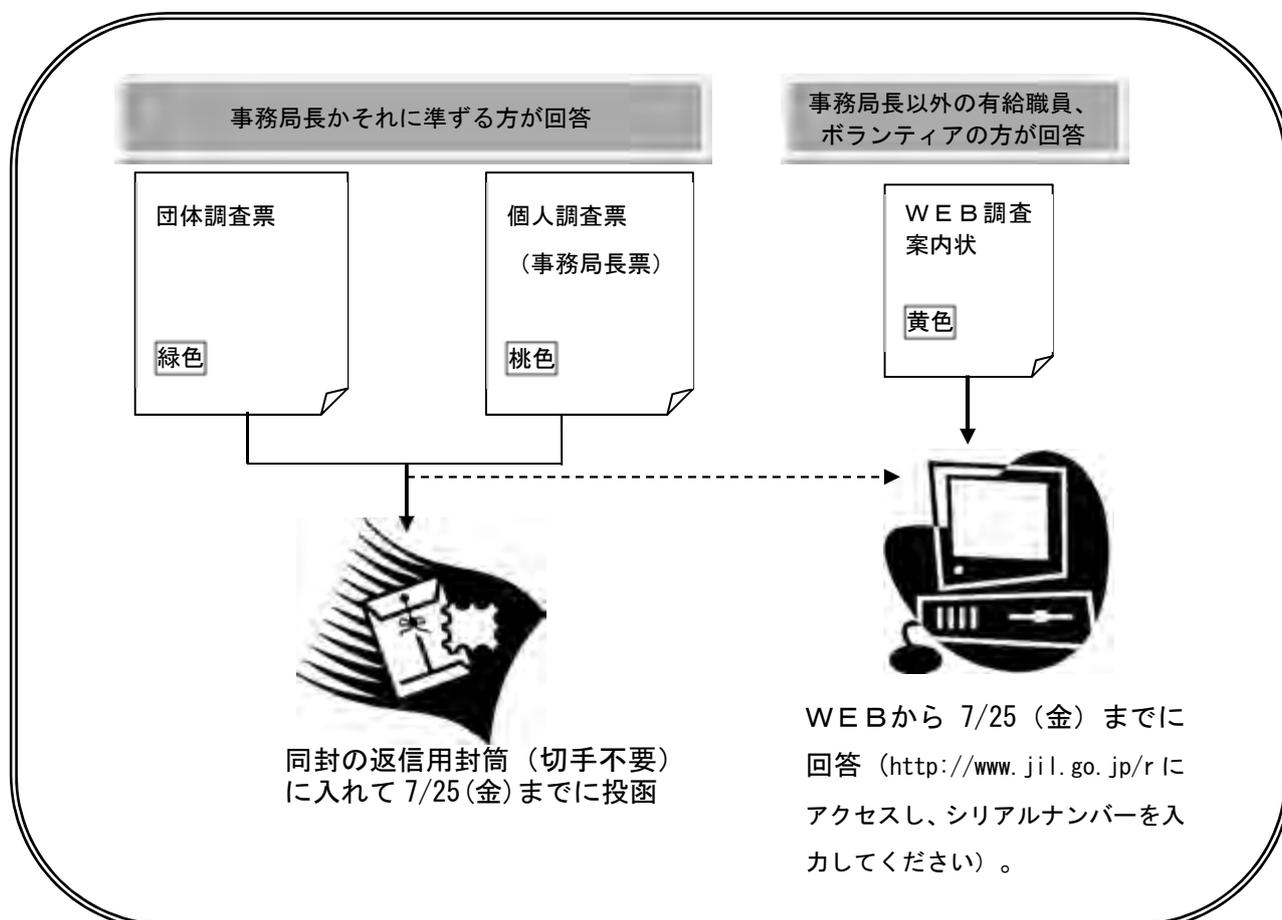
（※）労働政策研究・研修機構は、厚生労働省所管の独立行政法人で、国内外の労働事情や労働政策について総合的な調査研究等から、労働政策の効果的で効率的な推進に寄与することを目的として設置された組織です。

（当機構のホームページ <http://www.jil.go.jp> をご覧ください。）

「調査の実施方法について」裏面をご覧ください

調査の実施方法について

- ◆ 当調査は、紙でお送りしている「団体調査票」(緑色)、「個人調査票(事務局長票)」(桃色)と、WEBから回答していただく「個人調査票(有給職員、ボランティア票)」に分かれています。
- ◆ 「団体調査票」(緑色)と「個人調査票(事務局長票)」(桃色)は、事務局長かそれに準ずる方がご回答ください。ご記入が終わりましたら、同封の返信用封筒(緑色)に両調査票を入れて、7月25日(金)までにご投函ください。(WEB上からも回答できます。アクセス方法は調査票をご覧ください。)
- ◆ WEBから回答していただく「個人調査票(有給職員、ボランティア票)」は、WEB調査案内状(黄色・A5版)を10部同封しております。事務局長以外の有給職員、ボランティアの方に配布していただき、案内状の指示に従って7月25日(金)までにWEB上のアンケート調査にご回答ください。
- ◆ 有給職員・ボランティアの方へのWEB調査案内状(黄色・A5版)は10部同封されています。有給職員の方がいらっしゃる場合には、有給職員の方を優先的に配布してください。ボランティアの方に配る際には、定期的、あるいは頻繁に活動に参加されている方を優先的に配布してください。



NPO法人の活動と働き方に関する調査（団体調査票）

【調査の趣旨】

このアンケート調査は、特定非営利活動法人（以下、NPO法人という）に対して、ボランティアや就業の状況、東日本大震災の復興支援に対する活動の実態をおうかがいします。今後の労働政策や、災害時の支援活動に関する提言を行うための資料といたします。本調査は、日本NPO学会および日本NPOセンターにもご協力いただき、労働政策研究・研修機構(*)が実施しております。

貴団体での状況を是非ご教示くださいますよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【記入にあたってのお願い】

- 1 貴団体において事務局長、もしくはそれに準ずる方に、ご記入をお願いいたします。
- 2 特にことわりのない場合、2014年7月1日現在でお答えください。
- 3 ご記入が終わりましたら、もう一方の調査票と共に同封の緑色の返信用封筒に入れて、**7月25日（金）**までに投函ください。
- 4 WEB上からも回答できます。<http://www.jil.go.jp/r> にアクセスし、調査票右肩のシリアルナンバーを入力してください。同様のアンケート調査が始まります。

【調査票の記入方法・実査内容・回収についての問い合わせ】

株式会社日本リサーチセンター 調査部 担当：萩原

電話：0120-921-409（フリーダイヤル） E-mail：npo@nrc.co.jp

受付時間：9：00～18：00（土日祝日を除く）



株式会社日本リサーチセンターは、労働政策研究・研修機構より当調査の実査・集計業務を委託されています。

【調査の趣旨・目的についての問い合わせ】

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 担当：小野、古俣

電話：03-5991-5147

受付時間：10：00～12：00、13：00～17：00（土日祝日を除く）

(*)労働政策研究・研修機構は、厚生労働省所管の独立行政法人で、労働政策に資する調査研究活動を行っております。

はじめに貴団体の設立年、認証年、所在地についてうかがいます

設立年 () 年	認証年 () 年	認定NPO法人の場合のみ記入 認定年 () 年
主たる事務所所在の都市規模は、次のどれにあたりますか。(○は1つ)		
1 政令指定都市 2 (政令指定都市以外の) 人口10万以上の市 3 人口10万未満の市 4 町村		
貴団体の活動拠点はどこにありますか。(拠点があるところすべてに○をつけてください)		
1 北海道	9 栃木県	17 石川県
2 青森県	10 群馬県	18 福井県
3 岩手県	11 埼玉県	19 山梨県
4 宮城県	12 千葉県	20 長野県
5 秋田県	13 東京都	21 岐阜県
6 山形県	14 神奈川県	22 静岡県
7 福島県	15 新潟県	23 愛知県
8 茨城県	16 富山県	24 三重県
25 滋賀県	33 岡山県	41 佐賀県
26 京都府	34 広島県	42 長崎県
27 大阪府	35 山口県	43 熊本県
28 兵庫県	36 徳島県	44 大分県
29 奈良県	37 香川県	45 宮崎県
30 和歌山県	38 愛媛県	46 鹿児島県
31 鳥取県	39 高知県	47 沖縄県
32 島根県	40 福岡県	48 海外

I 貴団体の就業者とボランティアについてうかがいます

問1. 2014年3月末時点と、また、東日本大震災直前の時期（2011年2月末頃）での、貴団体の(1)就業者と(2)ボランティアの人数をご記入ください。当該活動形態の人がいない場合には「0」を記入してください。（東日本大震災直前に団体が存在しない場合は無記入）

名称		ことばの説明	2014年3月末 (2013年度末)	東日本大震災直前 (2011年2月末)	
(1) 就業者	a) 役員	理事長、理事、監事など役員名簿に記載されている者	人	人	
	b) 有給役員	役員のうち報酬を得て <u>実際に労働</u> している者	人	人	
	有給職員	c) 正規職員	フルタイムで働き、 <u>正規社員、正規従業員</u> と呼ばれるタイプの者	人	人
		d) 非正規職員	<u>パート、アルバイト、契約、派遣社員</u> と呼ばれるタイプの者	人	人
		e) 出向職員	グループや支援組織などからの出向社員。 <u>人件費は出向元負担</u>	人	人
(2) ボランティア	f) 有償ボランティア	給与ではないが、必要経費、謝金などの支給を受けている者	人	人	
	無償ボランティア	g) 事務局ボランティア	主に事務局業務を担うボランティア	人	人
		h) その他ボランティア	事務局業務以外の活動を行うボランティア	2013年度のおよその人数 人	2010年度のおよその人数 人
	i) インターン	就職前の学生などで、就業体験を目的として活動する者（実習生）	2013年度のおよその人数 人	2010年度のおよその人数 人	

問2. 今後3年間で増やしたいと考えている役員、職員、ボランティアの形態はどれですか。就業形態の定義については、問1を参照ください。（〇はいくつでも）

- | | |
|---------|----------------|
| 1 無給役員 | 6 有償ボランティア |
| 2 有給役員 | 7 無償の事務局ボランティア |
| 3 正規職員 | 8 無償のその他ボランティア |
| 4 非正規職員 | 9 インターン |
| 5 出向職員 | 10 増やすつもりはない |

- 問3. 貴団体の事務局長についてうかがいます。この10年間で何人くらい代わりましたか。(○は1つ)
- 1 代わっていない(1人) 3 3人
- 2 2人 4 4人以上

問4～7は、有給職員を雇用している団体への質問です。
有給職員を雇用していない場合は5ページの間8へお進みください。

【「正規職員」(*)がいらっしゃる団体にうかがいます。いらっしゃらない場合は、次ページの間6にお進みください。】

(*)「正規職員」とは、「フルタイムで働き、正規社員、正規従業員と呼ばれるタイプの者」をさします。

- 問4. 正規職員の(1)標準的な1日の実労働時間(残業も含む)、(2)標準的な週の労働日数をご記入ください。また、(1)と(2)を掛け合わせた、(3)標準的な週あたりの実労働時間はどのくらいになりますか。

(1)標準的な (2)標準的な (3)標準的な
1日の実労働時間 週の労働日数 週あたりの実労働時間

		時間	×			日	=				時間
--	--	----	---	--	--	---	---	--	--	--	----

- 問5. 正規職員の中で貴団体からの昨年度の給与額(年間)について、(1)高い人、(2)平均的な人、(3)低い人に分けて記入してください。正規職員が1人、また全員同額の場合は、「(2)平均的な人」の欄だけ回答してください。

正規職員	年間の給与額 (2013年度、税・社会保険込み)
(1) 給与額の高い人	約 万円
(2) 平均的な人 (正規職員が1人または、全員同額の場合はここだけ回答してください)	約 万円
(3) 給与額の低い人	約 万円

【「給与額の高い人」に、ご記入くださった団体にうかがいます。】

付問 給与額が高い正規職員の主な仕事はどのようなものですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|--|
| 1 組織全体の事業計画・運営・管理 | 8 行政や企業との連携 |
| 2 個々のプロジェクトの企画・運営 | 9 専門的な仕事(福祉、教育、IT、医療など) |
| 3 資金調達(補助金等申請、寄付金募集等) | 10 広報(機関誌やインターネットでの情報発信など) |
| 4 会計・経理 | 11 調査・研究 |
| 5 人事(職員の採用、管理) | 12 1～11の業務の補助的な仕事 |
| 6 一般事務 | 13 現場での活動 |
| 7 ボランティア・コーディネート | 14 その他(具体的に) |

【「非正規職員」(*)がいらっしゃる団体にうかがいます。いない場合は問7へ】

(*)「非正規職員」とは、「パート、アルバイト、契約、派遣社員と呼ばれるタイプの者」をさします。

問6. 非正規職員 (*) の中で 現在の時給 について、(1) 高い人、(2) 平均的な人、(3) 低い人 に分けて記入してください。(月給、日給支払の場合は労働時間数で割って時給に換算) 非正規職員が1人、また全員同額の場合は、「(2)平均的な人」の欄だけ回答してください。

非正規職員	おおよその時給 (2014年7月時点)	
(1) <u>時給の高い人</u>	約	円
(2) <u>平均的な人</u> (非正規職員が1人の場合、全員同額の場合はここだけ回答してください)	約	円
(3) <u>時給の低い人</u>	約	円

【有給職員を雇用している団体にうかがいます。】

問7. 下記の期間(年度)の有給職員の採用人数と離職人数はどのくらいですか。また、採用人数に関しては、そのうち東日本大震災の支援活動に関連して採用した人数を別にご記入ください。

(実績がない場合は「0」をご記入ください)

	有給職員の採用人数		有給職員の 離職人数
		うち、震災関連採用	
2011年4月1日～2012年3月31日 (2011年度)	人	人	人
2012年4月1日～2013年3月31日 (2012年度)	人	人	人
2013年4月1日～2014年3月31日 (2013年度)	人	人	人

【東日本大震災の支援活動に関連して採用した実績のある団体にうかがいます。それ以外の団体の方は次ページの間8にお進みください。】

付問1. 採用した中に、被災者の方はいらっしゃいますか。(○は1つ)

1 いる 2 いない 3 わからない

付問2. 採用した方の雇用契約期間はどのくらいですか。(○はいくつでも)

1 3か月未満 4 6か月 7 1年超
2 3か月 5 6か月超え1年未満 8 期間の定めはない
3 3か月超え6か月未満 6 1年

付問3. 採用した方の仕事は、主にどのようなものですか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1 組織全体の事業計画・運営・管理 | 8 行政や企業との連携 |
| 2 個々のプロジェクトの企画・運営 | 9 専門的な仕事(福祉、教育、IT、医療など) |
| 3 資金調達(補助金等申請、寄付金募集等) | 10 広報(機関誌やインターネットでの情報発信など) |
| 4 会計・経理 | 11 調査・研究 |
| 5 人事(職員の採用、管理) | 12 1～11の業務の補助的な仕事 |
| 6 一般事務 | 13 現場での活動 |
| 7 ボランティア・コーディネート | 14 その他(具体的に) |

付問4. 何が採用の決め手となりましたか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---|--------------|---|----------------|
| 1 | これまでの職業キャリア | 5 | 年齢 |
| 2 | やる気、熱意 | 6 | 他者からの推薦(推薦状など) |
| 3 | 保有している資格やスキル | 7 | 被災者であること |
| 4 | コミュニケーション能力 | 8 | その他(具体的に) |

付問5. 採用した方の前職(あるいは現職)はどのようなものでしたか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---|---|---|------------|
| 1 | 企業や団体の正規社員・職員 | 5 | 専業主婦 |
| 2 | 公務員(正規職員) | 6 | 学生 |
| 3 | 企業や団体(公務含む)の非正規社員・職員
(パート、契約社員、派遣社員など) | 7 | 無職 |
| 4 | 経営者、自営業主、個人事業主(フリーランス) | 8 | その他(具体的に) |

付問6. 採用した方の年齢(採用時点)はいくつでしたか。(〇はいくつでも)

- | | | | | | | | |
|---|--------|---|--------|---|--------|---|-------|
| 1 | 20歳未満 | 3 | 30～39歳 | 5 | 50～59歳 | 7 | 65歳以上 |
| 2 | 20～29歳 | 4 | 40～49歳 | 6 | 60～64歳 | | |

付問7. 現在雇用している方に対しては、今後どのくらいの雇用の継続を見込んでいますか。

(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---|---------|---|-------------------|
| 1 | 今後半年未満 | 3 | 1年～3年未満 |
| 2 | 半年～1年未満 | 4 | 本人に離職の意思がない限り継続する |

【全ての団体にうかがいます。】

問8. これまでに貴団体を離職した方の転職先は、どのようなところですか。(〇はいくつでも)

- | | | | |
|---|----------------------------|---|-------------------|
| 1 | 民間企業 | 5 | 専業主婦や学生など(仕事を辞める) |
| 2 | 他NPO法人、非営利団体 | 6 | リタイヤ(定年退職) |
| 3 | 公務員 | 7 | その他(具体的に) |
| 4 | 経営者、自営業主、
個人事業主(フリーランス) | 8 | 離職者はいない |

問9. 貴団体は、どのような方法を通じて(1)有給職員や(2)ボランティアを募集しますか。

(〇はそれぞれいくつでも)

	(1)有給職員	(2)ボランティア
雑誌や新聞広告などを通じての募集	1	1
学校、各種団体等でのポスター、広告の掲示による募集	2	2
ハローワークを通じての募集	3	3
NPO法人やNGOの求人サイト上での募集	4	4
貴団体のHPやFacebook、Twitterなどで募集	5	5
団体関係者からの紹介	6	6
団体関係者の友人、知人、縁者からの紹介	7	7
その他(具体的に)	8	8
募集はしていない	9	9

問10. (1) 貴団体で、現在不足しているのはどのような人材ですか。(〇はいくつでも)

(2) その中から、もっとも必要とされている人材を1つ選んでください。(〇は1つ)

	(1) 現在不足している人材 (〇はいくつでも) ↓	(2) もっとも必要な人材 (1つに〇) ↓
IT 関連技術に通じた人	1	1
企画能力に優れている人	2	2
専門の知識や経験が豊富な人	3	3
会計、経理に明るい人	4	4
人事、労務、教育訓練に明るい人	5	5
法律、行政制度に明るい人	6	6
資金集めが得意な人	7	7
団体運営全般ができる人	8	8
交渉、対外折衝が上手い人	9	9
人脈が豊富な人	10	10
年齢の若い人	11	11
体力に自信がある人	12	12
その他(具体的に)	13	13
特にな	14	14

問11. 貴団体の人材構成についておきします。以下の(a)～(d)のそれぞれについて、貴団体はAとBのどちらに近いですか。(〇はそれぞれ1つ)

A	Aに近い	やや Aに近い	やや Bに近い	Bに近い	B
(a) 若年層(35歳未満)が多い	1	2	3	4	中高齢者が多い
(b) 男性が多い	1	2	3	4	女性が多い
(c) 大卒以上の学歴の者が多い	1	2	3	4	学歴はばらばら
(d) 有給職員はボランティアから内部登用する	1	2	3	4	有給職員は外部から採用する

問12. 貴団体の、人材活用上の課題は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 労働条件や就業環境の改善 | 6 職員やボランティアの定着率の向上 |
| 2 職員やボランティアの責任感の向上 | 7 職員やボランティアの専門能力の向上 |
| 3 団体内部のコミュニケーションの円滑化 | 8 役員層の人材確保 |
| 4 有給職員層の人材確保 | 9 ボランティア層の人材確保 |
| 5 後継者探し、後継者育成 | 10 その他(具体的に) |
| | 11 特にな |

問13. 自然災害等の被災地支援を実施する際に、ボランティアの募集と派遣を国や行政が積極的に行うことについてどう思いますか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 よいと思う | 3 どちらかといえばよくないと思う |
| 2 どちらかといえばよいと思う | 4 よくないと思う |
| | 5 わからない |

Ⅱ 東日本大震災に係わる支援事業についてうかがいます

問14. 貴団体は東日本大震災に係わる支援事業に、これまでどのような形で携わりましたか。

(○はいくつでも)

1 被災地で復興支援事業を実施した 2 被災地以外で被災者等の支援事業を実施した	3~5 のみの団体は → 10 ページの間 23 へ お進みください
3 被災地以外で支援物資や寄付金を募って送った 4 その他 (具体的に) 5 特に何も行ってない	

【1, 2 を選択した団体にうかがいます。】

付問 これまで貴団体で実施した東日本大震災に係わる支援事業の事業規模は、各年度ごとに、およそどのくらいの金額でしたか。

2011 年度： およそ	億	千万	百万	十万	万		万円
2012 年度： およそ	億	千万	百万	十万	万		万円
2013 年度： およそ	億	千万	百万	十万	万		万円

問15. どのような資金体制で支援事業を実施しましたか。(○はいくつでも)

- 1 貴団体の独自資金 (寄付金を含む) によって実施
- 2 貴団体の独自資金 (寄付金は含まない) によって実施
- 3 ボラサポ、ジャパンプラットフォームなど資金支援団体からの助成を得て実施
- 4 企業との協働、企業寄付、助成金によって実施
- 5 行政からの委託により実施
- 6 行政からの補助金、助成金を得て実施
- 7 その他 (具体的に)

【5, 6 を選択した団体にうかがいます。】

付問 どのような制度や基金で支援活動を行いましたか。具体的な名称をご記入ください。

【問 14 で 1, 2 を選択した団体にうかがいます。】

問16. 貴団体に対する寄付は、震災前後で次のうちどのような傾向にありますか。(○は1つ)

1 震災前に比べて寄付金が増えた	} →次ページの間 17 へ お進みください
2 震災前と後で特に大きな寄付金の変化はない	
3 震災前に比べて寄付金が減った	
4 寄付金はない	

↓
次ページの付問へお進みください

【問 16 で 1 を選択した団体にうかがいます。】

付問 寄付をしている支援者はどのような方ですか。(○は1つ)

- 1 震災前からの支援者が多い
- 2 震災後に増えた新しい支援者が多い
- 3 わからない

【東日本大震災に関する支援事業を実施した団体(問 14 で 1、2 を選択)にうかがいます。】

問17. 貴団体が取り組む支援活動に参加するボランティアは、次のうちどのような傾向にありますか。
(○は1つ)

- 1 震災前から活動しているボランティアが多い →問 18 へお進みください
 - 2 震災後の支援活動で新たに活動を始めたボランティアが多い
 - 3 ボランティアはいない
 - 4 わからない
- 問 18 へお進みください

【2 を選択した団体にうかがいます。】

付問 震災後から新たにボランティアに参加された方のうち、現在も継続して活動されている方は、どのくらいいますか。(○は1つ)

- | | |
|--------|-----------|
| 1 8割以上 | 4 3~4割 |
| 2 6~7割 | 5 1~2割 |
| 3 半分程度 | 6 ほとんどいない |

【東日本大震災に関する支援事業を実施した団体(問 14 で 1、2 を選択)にうかがいます。】

問18. 東日本大震災に関する支援事業を実施することで、これまで実施していた貴団体の活動内容に影響がありましたか。(○は1つ)

- 1 あった：これまで実施していた活動の規模が縮小した
- 2 あった：これまで実施していた活動の規模も拡大した
- 3 なかった：これまでの活動は同規模で実施している
- 4 東日本大震災以前の活動はない

問19. 東日本大震災に関する支援活動中に、職員やボランティアに活動中の怪我など、治療費がかかるような出来事がありましたか。(○は1つ)

- 1 あった
- 2 なかった →次ページの間 20 へお進みください

【1 を選択した団体にうかがいます。】

付問 治療にかかった経費や補償はどのように対応されましたか。(○はいくつでも)

- 1 団体に加入している労災保険で対応した
- 2 団体に加入している健康保険(本人名義)で対応した
- 3 団体に加入しているボランティア保険で対応した
- 4 団体に個別に治療費等を負担した
- 5 個人で対応してもらった(団体の負担はなかった)
- 6 その他(具体的に)

【東日本大震災に関する支援事業を実施した団体(問 14 で 1、2 を選択)にうかがいます。】

問20. 震災以降、メディアなどで貴団体の活動が取り上げられたことはありましたか。

(〇はいくつでも)

- | | |
|-------|----------------------|
| 1 テレビ | 5 区報や市報などの公報 |
| 2 ラジオ | 6 ブログなどインターネット上のメディア |
| 3 新聞 | 7 その他(具体的に) |
| 4 雑誌 | 8 取り上げられたことはない・不明 |

問21. 貴団体で実施している震災関連の支援事業の中で現在も継続しているものはありますか。

(〇は1つ)

1 ある

2 すべて終了している →次ページの間 22 へお進みください

【1 を選択した団体にうかがいます。付問 1～6 は、現在も実施されている支援事業についての問いです。複数実施されている場合には、もっとも事業規模の大きなものについてお答えください。】

付問 1. いつから始められましたか。

201 年 月

付問 2. どのような内容の事業ですか。事業の名称と具体的な事業内容をお書きください。

事業名称：
事業内容：

付問 3. 年間支出はどのくらいの事業ですか。

年間支出：約

千万	百万	十万	万
----	----	----	---

 万円

付問 4. 当該支援事業に何人くらいの有給職員が雇用されていますか。(雇用されていない場合は「0」を記入)

年間雇用人数： 人

付問 5. 当該支援事業に 1 か月あたり平均して何人くらいのボランティアが活動していますか。(ボランティアがいない場合は「0」を記入)

1 か月あたりのボランティア数：約 人

付問 6. 当該支援事業の終了時期はいつを見込まれていますか。(○は1つ)

- 1 終了時期は、20 年 月ごろの見込み
 2 できる限り長く継続する見込み
 3 わからない

【東日本大震災に関する支援事業を実施した団体(問14で1、2を選択)にうかがいます。】

問22. 終了した震災関連の支援事業について、おうかがいします。終了した理由は何ですか。

(○はいくつでも)

- 1 資金源がなくなった(委託業務、補助金、助成金の終了)
 2 支援のニーズがなくなった
 3 事業を実施する人材を確保できなかった
 4 その他(具体的に)
 5 終了した事業はない

Ⅲ 貴団体の概要についてうかがいます

【全ての団体にうかがいます。】

問23. 貴団体の活動分野を、主なものから順に2つ選んで、下の枠内に数字を記入してください。

- | | | |
|-----------------|-------------|------------------|
| 1 保健・医療・福祉 | 8 災害救援 | 15 科学技術振興 |
| 2 社会教育 | 9 地域安全 | 16 経済活動の活性化 |
| 3 まちづくり | 10 人権擁護・平和 | 17 職業能力開発・雇用機会拡充 |
| 4 観光振興 | 11 国際協力 | 18 消費者の保護 |
| 5 農村漁村・中山間地域振興 | 12 男女共同参画 | 19 NPO 支援 |
| 6 学術、文化、芸術、スポーツ | 13 子どもの健全育成 | 20 条例指定 |
| 7 環境保全 | 14 情報化社会の発展 | |

主要な活動分野：1番目

2番目

問24. 貴団体のボランティアや有給職員には、定年退職者がいますか。(○は1つ)

- 1 いる 2 いない 3 わからない

問25. ボランティアや有給職員を確保するにあたって、定年退職者の受け入れについて、どのようにお考えですか。(○は1つ)

- 1 積極的である 3 定年退職者であるかどうかは、気にしない
 2 あまり積極的でない

問26. 東日本大震災以降、貴団体で今後の災害対策や防災について、新たになんらかの事業を始められましたか。(○は1つ)

- 1 新たに始めた 2 前から行っている 3 特に行っていない

問27. 貴団体が加入している保険を選択してください。(〇はいくつでも)

- | | |
|--------|---------------|
| 1 雇用保険 | 5 ボランティア保険 |
| 2 厚生年金 | 6 その他(具体的に) |
| 3 健康保険 | 7 いずれも加入していない |
| 4 労災保険 | |

問28. 貴団体が、協力して活動している団体についておききします。(〇はそれぞれいくつでも)

(1) ヒト、モノ、情報などの協力関係にあるのは、どのような団体等ですか。

(2) 貴団体が、資金の提供を受けている団体は、どのような団体等ですか。

	(1)ヒト、モノ、情報などの協力関係にある ↓	(2)資金の提供を受けている ↓
NPO 法人	1	1
任意団体(法人格のないNPO)	2	2
公益法人、一般法人(社団、財団法人)	3	3
中間支援組織(NPO法人や任意団体を支援する団体)	4	4
社会福祉協議会	5	5
労働組合	6	6
生活協同組合	7	7
学校、幼稚園、PTA等(学校法人)	8	8
病院、福祉施設(医療法人、社会福祉法人)	9	9
地縁組織(自治会、町内会など)	10	10
産業関連団体(商工会議所・青年会議所・農協など)	11	11
民間企業	12	12
地方自治体(都道府県)	13	13
地方自治体(市区町村)	14	14
その他(具体的に)	15	15
そのような団体等はない	16	16

付問. 「問28」で回答された団体のうち、貴団体の活動にとって重要な団体の番号を、3つまでご記入ください。

最も重要 2番目に重要 3番目に重要

問29. この3年間で、貴団体が強化してきた運営戦略は何ですか。(〇はいくつでも)

- 1 認定NPO法人になる
- 2 資産を増やす
- 3 自主財源(寄付、会費、自主事業収入)を増やす
- 4 人材確保と育成
- 5 ホームページやブログの充実による広報活動
- 6 FacebookやTwitterなどを通じた広報活動
- 7 テレビや新聞、雑誌取材を増やすような広報活動
- 8 行政との連携
- 9 企業との連携
- 10 他のNPO法人など非営利組織との連携
- 11 その他(具体的に)
- 12 特になし

問30. 直近 3 年間の年間収入全体の額と寄付金収入額を記入してください（設立していない年度は無記入）。寄付金収入額については、そのうちの東日本大震災関連の寄付額についてもご記入ください。千円単位は四捨五入し、0 円の場合は「0」とご記入ください。

年度	年間収入全体の額	うち寄付金収入額	
			うち東日本大震災関連寄付
2011 年度（平成 23 年度）	万円	万円	万円
2012 年度（平成 24 年度）	万円	万円	万円
2013 年度（平成 25 年度）	万円	万円	万円

問31. 最後に、貴団体の運営にあたり、人材面でどのようなところを工夫されていますか。後進の NPO 法人にご助言をお願いいたします。

- ご希望の方には、この調査結果の概要を送付いたしますが、希望されますか。
 - 1 はい ⇒ 下記の送付先にご記入ください。
 - 2 いいえ
- 今後、ヒアリング調査を実施するにあたり、ご協力いただけますか。
 - 1 協力できる ⇒ 下記の連絡先にご記入ください。
 - 2 協力できない

連絡先と送付先

（ヒアリング調査におうかがいする場合には、お電話もしくはメールにてご連絡差し上げます）

ご氏名： 団体名：

お電話番号：

Eメール：

送付先（調査結果の概要の送付を希望する場合のみ記入）：

〒 -

**お忙しい中、ご協力本当にありがとうございました。7月25日（金）までに、
もう一方の調査票と共に返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。
さらなるご活躍をお祈りいたしております。**

NPO法人の活動と働き方に関する調査（個人調査票・事務局長票）

【調査の趣旨】

このアンケート調査は、特定非営利活動法人（以下、NPO法人という）で活動する事務局長の皆様に、活動内容や、活動を始めたきっかけや動機などをおききします。本調査は、日本NPO学会および日本NPOセンターにもご協力いただき、労働政策研究・研修機構(*)が実施しております。今後の労働政策や、災害時の支援活動に関する提言を行うための資料といたします。

あなたの活動の状況を是非ご教示くださいますよう、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

【記入にあたってのお願い】

- 1 貴団体において事務局長、もしくはそれに準ずる方に、ご記入をお願いいたします。
- 2 特にことわりのない場合、2014年7月1日現在でお答えください。
- 3 ご記入内容は、すべて統計的に処理され、研究目的にのみ利用されます。個人が特定されることはありませんので、ありのままをご記入ください。
- 4 もう一方の調査票と共に同封の緑色の返信用封筒に入れて、**7月25日（金）**までに投函ください。
- 5 WEB上からも回答できます。<http://www.jil.go.jp/r> にアクセスし、調査票右肩のシリアルナンバーを入力してください。同様のアンケート調査が始まります。

【調査票の記入方法・実査内容・回収についての問い合わせ】

株式会社日本リサーチセンター 調査部 担当：萩原

電話：0120-921-409（フリーダイヤル）E-mail：npo@nrc.co.jp

受付時間：9：00～18：00（土日祝日を除く）

株式会社日本リサーチセンターは、労働政策研究・研修機構より調査の実査・集計業務を委託されています。



【調査の趣旨・目的についての問い合わせ】

独立行政法人 労働政策研究・研修機構 担当：小野、古俣

電話：03-5991-5147

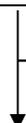
受付時間：10：00～12：00、13：00～17：00（土日祝日を除く）

(*)労働政策研究・研修機構は、厚生労働省所管の独立行政法人で、労働政策に資する調査研究活動を行っております。

I 現在のNPO法人での活動についておききします

問1. 現在のNPO法人で活動を始めたのはいつですか。

西暦 年 月



2011年2月以前に活動されていた方は、
次ページの間2へお進みください

【2011年3月以降に活動を開始した方にうかがいます。】

付問 あなたが現在のNPO法人で活動を始めたのは、東日本大震災がきっかけでしたか。

(○は1つ)

- 1 はい 2 いいえ

【全員の方にうかがいます。】

問2. 現在のNPO法人で活動を始めた、直接のきっかけは何ですか。(○は1つ)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1 家族や親戚からの紹介 | 6 雑誌や新聞、広報誌などを通じての募集・勧誘 |
| 2 職場や仕事を通じた紹介 | 7 HPなどインターネットを通じての募集・勧誘 |
| 3 地域の友人・知人からの紹介 | 8 ハローワークを通じての公募 |
| 4 インターネット上のつながりからの紹介 | 9 大学や専門機関、自治体などを通じての公募 |
| 5 その他の友人・知人からの紹介 | 10 その他(具体的に) |

問3. 次の(a)～(l)の各項目について、あなたが現在のNPO法人で活動を始めた動機として、どの程度あてはまるかお答えください。(○はそれぞれ1つ)

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
(a) 人の役に立ち、社会や地域に貢献するため ⇒	1	2	3	4
(b) NPO法人の理念や活動目的に共感したため ⇒	1	2	3	4
(c) 収入を得るため ⇒	1	2	3	4
(d) 自分の経験や能力を生かすため ⇒	1	2	3	4
(e) 新しい知識や技術、経験を得るため ⇒	1	2	3	4
(f) 将来働く際に有利な経験を得るため ⇒	1	2	3	4
(g) 授業の単位や資格を取るため ⇒	1	2	3	4
(h) 仲間や友人の輪を広げるため ⇒	1	2	3	4
(i) 必要な情報やつながりを得るため ⇒	1	2	3	4
(j) 家族や友人に頼まれた、誘われたため ⇒	1	2	3	4
(k) 時間ができたため ⇒	1	2	3	4
(l) 義理、断り切れなかったため ⇒	1	2	3	4

問4. 現在のNPO法人であなたが行っている活動内容をすべてお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 1 組織全体の事業計画・運営・管理 | 8 行政や企業との連携 |
| 2 個々のプロジェクトの企画・運営 | 9 専門的な仕事(福祉、教育、IT、医療など) |
| 3 資金調達(補助金等申請、寄付金募集等) | 10 広報(機関誌やインターネットでの情報発信など) |
| 4 会計・経理 | 11 調査・研究 |
| 5 人事(職員の採用、管理) | 12 1～11の業務の補助的な仕事 |
| 6 一般事務 | 13 現場での活動 |
| 7 ボランティア・コーディネート | 14 その他(具体的に) |

問5. 問4で選択した活動内容の中で、主なものの番号を1つご記入ください。

問6. 現在のNPO法人で活動している曜日は以下のうちどれにあたりますか。(○はいくつでも)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1 平日の昼間 | 4 週末(土日)祝日の夜間 |
| 2 平日の夜間 | 5 決まっていない |
| 3 週末(土日)祝日の昼間 | |

問7. 次の(a)～(k)の各項目は、現在のNPO法人での活動を通じて、あなたにどの程度あてはまりますか。(○はそれぞれ1つ)

	あてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	あてはまらない
(a) 人の役に立ち、社会や地域に貢献できている ⇒	1	2	3	4
(b) 自分の意見や考えが組織運営に反映されている ⇒	1	2	3	4
(c) 生活に必要な収入が得られている ⇒	1	2	3	4
(d) 自分の経験や能力が活かされている ⇒	1	2	3	4
(e) 新しい知識や技術、経験が身についている ⇒	1	2	3	4
(f) 将来のキャリアに有利な経験を得られている ⇒	1	2	3	4
(g) 周りから注目、評価、感謝されている ⇒	1	2	3	4
(h) 私生活でもスタッフやメンバーと交流がある ⇒	1	2	3	4
(i) 必要な情報やつながりを得られている ⇒	1	2	3	4
(j) 自分の生活時間に合わせて活動できている ⇒	1	2	3	4
(k) 将来へ希望が持てる ⇒	1	2	3	4

問8. 現在のNPO法人活動の中で、最近6ヶ月くらいの間に、次の(a)～(k)のようなことをどの程度経験しましたか。あてはまると思う番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

	いつもある	しばしばある	時々ある	まれにある	ない
(a) 「こんな活動、もうやめた」と思うことがある ⇒	1	2	3	4	5
(b) 我を忘れるほど活動に熱中することがある ⇒	1	2	3	4	5
(c) この活動は私の性分に合っていると 思うことがある ⇒	1	2	3	4	5
(d) 1日の活動が終わると「やっと終わった」 と感ずることがある ⇒	1	2	3	4	5
(e) 活動に行くのが嫌になって、家にいたい と思うことがある ⇒	1	2	3	4	5
(f) 活動を終えて、今日は気持ちのよい日 だったと思うことがある ⇒	1	2	3	4	5
(g) 活動のために心にゆとりがなくなった と感ずることがある ⇒	1	2	3	4	5
(h) 今の活動に、心から喜びを感ずることが ある ⇒	1	2	3	4	5
(i) 活動が楽しくて、知らないうちに時間が すぎる ⇒	1	2	3	4	5
(j) 体も気持ちも疲れ果てたと思うことが ある ⇒	1	2	3	4	5
(k) 我ながら、仕事をうまくやり終えたと思 うことがある ⇒	1	2	3	4	5

問9. 現在のNPO法人の活動に役立てるために、過去1年間で下記にあるような自己啓発を行いましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| 1 本を買った | 5 学校に通った |
| 2 資格を取った | 6 その他(具体的に) |
| 3 セミナーや講座などを受けた | 7 行ったことのある自己啓発はない |
| 4 通信教育を受けた | |

問10. あなたの持っている各種資格について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

(○はいくつでも)

1 看護師	9 精神保健福祉士	17 医師	25 司法書士
2 准看護師	10 保健師	18 弁護士	26 税理士
3 社会福祉士	11 介護福祉士	19 理・美容師	27 行政書士
4 作業療法士	12 ホームヘルパー	20 簿記資格	28 その他
5 理学療法士	13 栄養士	21 パソコン関連資格	具体的に
6 柔道整復師	14 保育士・幼稚園教諭	22 語学関連資格	
7 歯科衛生士	15 教員免許(小・中・高)	23 普通自動車免許	29 資格は持っていない
8 心理カウンセラー	16 医療事務	24 大型・特殊自動車免許	

問 11 へお進みください

付問 現在持っている資格のうち、現在のNPO 法人でのお仕事に役立っているものはありますか。

(○は1つ)

1 ない 2 ある →一番役に立っている資格の番号をご記入ください。

【全員の方にうかがいます。】

問11. 現在のNPO 法人で活動を始めてから現在にいたるまで、活動への取組み意欲はどのように変わりましたか。(○は1つ)

1 意欲は上がっている 2 変わっていない 3 意欲は下がっている

問12. 次の(a)～(c)の各項目について、あなたは、現在のNPO 法人内でどの程度関与していますか。

(○はそれぞれ1つ)

	かなり関与している	やや関与している	あまり関与していない	関与していない
(a) 組織運営やミッションの方針決定 ⇒	1	2	3	4
(b) 組織の全般的な業務の管理 ⇒	1	2	3	4
(c) 個々のプロジェクトの管理・運営 ⇒	1	2	3	4

問13. あなたは、現在のNPO 法人で東日本大震災関連の支援活動を行いましたか。(○は1つ)

- 1 行った(行っている)・・・主に、被災地で
- 2 行った(行っている)・・・主に、被災地以外で
- 3 行った(行っている)・・・被災地と被災地以外での活動は半々
- 4 行っていない
- 5 現在のNPO 法人は東日本大震災関連の支援事業は行っていない

→次ページの間 14 へお進みください

【1～3を選択された方にうかがいます。】

付問 1. 東日本大震災関連の支援活動を行った期間をご記入ください。

なお、現在も継続されている方は、「1 継続中」に○をしてください。

●開始 西暦 201 年 月 日 ～ 1 継続中 年 月 日
 2 終了 → 201 年 月 日 まで

付問 2. 付問 1 でお答えになった期間中、東日本大震災関連の支援活動が、あなたの NPO 法人での活動時間に占める割合はどのくらいです（でした）か。（○は 1 つ）

- 1 自身の活動時間の 8 割以上
- 2 自身の活動時間の 半分程度（4～7 割）
- 3 自身の活動時間の 3 割以下

付問 3. 東日本大震災関連の支援活動の内容はどのようなものです（でした）か。

（○はいくつでも）

- | | |
|-----------------|------------------------|
| 1 がれきや泥等の撤去 | 7 ボランティア・コーディネート |
| 2 炊き出しや物品の配布 | 8 災害支援事業の企画・運営・管理 |
| 3 寄付や支援物資の収集、整理 | 9 行政や各種団体、企業との情報交換・連絡 |
| 4 医療、保健、福祉関連活動 | 10 広報活動（新聞、ネット等での情報発信） |
| 5 見回り、見守り活動 | 11 事務作業、後方支援 |
| 6 遊び相手、学習支援 | 12 その他（具体的に _____） |

付問 4. 東日本大震災関連の支援活動中（移動中も含む）に、下記のようなことを経験したり、感じたりしましたか。（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1 通院・入院を要するケガ | 5 ^{ひばく} 被曝に関する不安感 |
| 2 通院・入院を要する病気（身体面） | 6 余震などによる不安感 |
| 3 通院・入院を要する病気（精神面） | 7 その他（具体的に _____） |
| 4 過労 | 8 特にない |

付問 5. 東日本大震災関連の支援活動中のケガや事故に備えて、事前に保険等に参加していましたか。（○はいくつでも）

- 1 労災保険に加入していた（NPO 法人が負担）
- 2 NPO 法人がボランティア保険に加入していた（NPO 法人が負担）
- 3 自らボランティア保険に加入した（全額・一部自己負担）
- 4 民間の保険（医療、損害保険など）に加入（全額自己負担）
- 5 特に何も加入していない
- 6 わからない

【全員の方にうかがいます。】

問14. 東日本大震災以前から現在の NPO 法人で活動していた方にうかがいます。あなたは、以下の (a) ～ (c) の項目について、東日本大震災以前と以後では変化があったと感じますか。

（○はそれぞれ 1 つ）

	増加した	やや増加した	変化なし	やや減少した	減少した
(a) 現在の NPO 法人の活動から得るやりがい ⇒	1	2	3	4	5
(b) 現在の NPO 法人の活動に対する世間の注目度 ⇒	1	2	3	4	5
(c) 現在の NPO 法人の活動に対して他者から感謝された経験 ⇒	1	2	3	4	5

問15. 現在、ボランティア活動中のケガや病気に対して国や行政での補償制度がありませんが、今後のあり方についてあなたはどのように考えますか。(〇は1つ)

- 1 激甚災害等の災害ボランティア活動では、国や行政での補償制度が必要である
- 2 ボランティア活動全般に対して、国や行政での補償制度が必要である
- 3 国や行政での補償制度は必要ない(現在のボランティア保険で十分である)
- 4 その他(具体的に)
- 5 わからない

問16. 自然災害等の被災地支援を実施する際に、ボランティアの募集と派遣を国や行政が積極的に行うことについてどう思いますか。(〇は1つ)

- 1 よいと思う
- 2 どちらかといえばよいと思う
- 3 どちらかといえばよくないと思う
- 4 よくないと思う
- 5 わからない

II 活動形態別におききします

問17. 現在のNPO法人でのあなたの活動形態はどれにあたりますか。(〇は1つ)

- 1 正規職員(フルタイムで働き、一般企業では正規社員と呼ばれるタイプの有給職員)
- 2 非正規職員(パート、アルバイト、契約、派遣社員と呼ばれるタイプの有給職員)
- 3 有償ボランティア(必要経費や謝金などの支給を受けているボランティア)
- 4 無償事務局ボランティア(主に事務局業務を担うボランティア)
- 5 無償その他ボランティア(事務局業務以外の活動を担うボランティア)
- 6 インターン(学生などで、就業体験を目的として活動する者。実習生)

→8 ページの問26へ
お進みください

【問18～25は、「1 正規職員」「2 非正規職員」を選択された方にうかがいます。】

問18. あなたの①給与形態を選び(〇は1つ)、②そのおおよその金額(数字を記入)をご記入ください。月給、年棒の場合は、千円単位は四捨五入してください。

①給与形態(〇は1つ)		②金額(税金、社会保険料など控除前の金額。残業代を除く。)	
1	時間給 _____ →	1時間あたり	() 円
2	日給 _____ →	1日あたり	() 円
3	月給 _____ →	1か月あたり	() 万円
4	年棒 _____ →	1年あたり	() 万円
5	その他() _____ →	()	() 円

問19. 有給職員になった時点から、現在まで賃金はどのように変化しましたか。(〇は1つ)

- 1 上昇傾向
- 2 低下傾向
- 3 ほとんど変化はない

問20. あなたの現在のNPO法人における賃金は、主にどのようなルール（賃金表など）に基づいて決定されていますか。（○は1つ）

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1 年齢や勤続年数に応じて決定 | 5 時給などで一律に決定 |
| 2 資格や能力に応じて決定 | 6 場合に応じて決定（明確なルールがない） |
| 3 職務や職種に応じて決定 | 7 その他（具体的に |
| 4 個人の貢献や成果に応じて決定 | 8 わからない |

問21. 現在のNPO法人における処遇全般に対して、あなたは満足していますか。（○は1つ）

- 1 満足 2 やや満足 3 やや不満 4 不満

問22. 現在のNPO法人でのあなたの(1)標準的な1日の実労働時間（残業を含む）、(2)標準的な週の労働日数をご記入ください。また、(1)と(2)を掛け合わせた、(3)標準的な週あたりの実労働時間はどのくらいになりますか。

(1)標準的な 1日の実労働時間	(2)標準的な 週の労働日数	(3)標準的な 週あたりの実労働時間									
<table border="1" style="display: inline-table; width: 60px; height: 40px; vertical-align: middle;"> <tr><td style="width: 30px; height: 30px;"></td><td style="width: 30px; height: 30px;"></td></tr> </table> 時間			×	<table border="1" style="display: inline-table; width: 60px; height: 40px; vertical-align: middle;"> <tr><td style="width: 30px; height: 30px;"></td><td style="width: 30px; height: 30px;"></td></tr> </table> 日			=	<table border="1" style="display: inline-table; width: 120px; height: 40px; vertical-align: middle;"> <tr><td style="width: 40px; height: 30px;"></td><td style="width: 40px; height: 30px;"></td><td style="width: 40px; height: 30px;"></td></tr> </table> 時間			

問23. 現在のNPO法人での活動を通じて、なんらかの教育訓練を受けたことがありますか。

（○はいくつでも）

- | | |
|--------------------------------|--------------|
| 1 計画的なOJT（日常の業務につきながら行われる教育訓練） | 6 自己啓発への支援 |
| 2 入社、入職時の研修 | 7 その他（具体的に |
| 3 職種、職務別の研修 | 8 特に受けたことはない |
| 4 資格取得のための研修 | |
| 5 外部団体での研修、講座への参加 | |

問24. 現在のNPO法人での仕事を通じて、職業能力やキャリアは向上していますか。（○は1つ）

- 1 向上している 3 あまり向上していない
2 ある程度向上している 4 向上していない

問25. あなたは、3年後どのような働き方をしていると思いますか。（○は1つ）

- 1 現在のNPO法人で継続して働いている
- 2 他のNPO法人等、非営利団体で働いている
- 3 民間企業で働いている
- 4 経営者、自営業主、個人事業主（フリーランス）になる
- 5 NPO法人を立ち上げる
- 6 公務員になる
- 7 その他（具体的に
- 8 働いていない（リタイア、家事に専念、学生など）
- 9 わからない

次ページの間29へお進みください

【問 26～28 は、問 17 で「3～5 ボランティア」、「6 インターン」を選択した方にうかがいます。】

問26. 現在の NPO 法人では、1 ヶ月あたり何時間くらい活動されていますか。年間での活動時間を、月平均に換算してお答えください。

1 ヶ月あたり

--	--	--

 時間程度

問27. 活動に際して、交通費などの経費や謝礼は、どのような形で支払われていますか。

(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|------------------|
| 1 現金や現金化できる謝礼の支払 | 4 交通費などの経費の一定額支払 |
| 2 現金化できない謝礼の支払 | 5 その他(具体的に) |
| 3 交通費などの経費の実費支払 | 6 支払は一切ない |

【1. 現金や現金化できる謝礼の支払】を選択した方にうかがいます】

付問 昨年(2013年)1年間にあなたが受け取った謝礼金(交通費などの経費は除く)はおおよそいくらでしたか。また、1時間当りの金額が決まっている場合いくらですか。

年間 _____万 _____千円 1時間当り _____円

問28. あなたは、現在の NPO 法人で有給職員になりたいと思っていますか。(○は1つ)

- 1 なりたい 2 なりたくない 3 どちらともいえない

【全員の方にうかがいます。】

Ⅲ 現在の NPO 法人以外での職業やボランティア経験についておききします

問29. 現在の NPO 法人以外での、あなたの主なご職業をお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---|-------------------------|
| 1 企業や団体の正規社員・職員 | |
| 2 公務員(正規職員) | |
| 3 企業や団体(公務含む)の非正規社員・職員(パート、契約社員、派遣社員など) | |
| 4 経営者、自営業主、個人事業主(フリーランス) | |
| 5 専業主婦 | →次ページの間 31 へ
お進みください |
| 6 学生 | |
| 7 現在の NPO 法人以外では仕事をしていない | |
| 8 その他(具体的に) | |

【1～4 を選択された方にうかがいます。】

問30. 上で○をつけた現在の NPO 法人以外の職業で、あなたの(1)標準的な 1 日の実労働時間(残業を含む)、(2)標準的な 週の労働日数をご記入ください。また、(1)と(2)を掛け合わせた、(3)標準的な 週あたりの実労働時間はどのくらいになりますか。

(1)標準的な 1 日の実労働時間 (2)標準的な 週の労働日数 (3)標準的な 週あたりの実労働時間

--	--

 時間 ×

--	--

 日 =

--	--	--

 時間

【全員の方にうかがいます。】

問31. 現在のNPO法人以外で、働いたことがありますか。下記の(a)～(c)のそれぞれについて、就業年数の合計（半年以上切り上げ、半年未満切捨て）をお答えください。半年未満もしくは「ない」場合には、0をお書きください。

なお、いずれの就業経験もない場合には×をお選びください。就業年数の合計が半年未満の場合も、×をお選びください。

	勤続年数の合計		
(a) 企業や団体の正規社員・職員	約		年
(b) 企業や団体の非正規社員・職員（パート・アルバイト、契約社員、派遣社員など）	約		年
(c) 経営者、自営業主、個人事業主（フリーランス）	約		年

X 上記いずれの就業経験もない → 問32へお進みください

【(a)～(c)のいずれかに、1年以上と回答した方にうかがいます。】

付問1. あなたは、これまで現在のNPO法人以外のNPO法人で、有給職員として働いたことがありますか。ある場合は、その勤続年数の合計（半年以上切り上げ、半年未満切捨て）をお答えください。（○は1つ）

1 ある → _____年 2 ない

付問2. 現在のNPO法人以外で、最も長く経験した職はどれですか。（○は1つ）

- | | |
|------------------------------------|--------------------------------|
| 1 経営職・役員 | 7 事務職（一般事務等） |
| 2 管理職（リーダー職含む） | 8 営業職 |
| 3 事務系専門職A（経理、財務、会計） | 9 販売職、接客サービス職 |
| 4 事務系専門職B（マーケティング、企画、法務、広報など上記A以外） | 10 生産・技能職、建設・工事、運輸・通信職 |
| 5 技術系専門職（研究開発・設計・SE等） | 11 軽作業、梱包、清掃 |
| 6 医療福祉・教育関係の専門職 | 12 その他（ ） |

付問3. あなたは、これまで定年退職の経験はありますか。（○は1つ）

1 ある 2 ない

【全員の方にうかがいます。】

問32. あなたは、現在のNPO法人以外で、ボランティアなどの社会貢献活動をしていますか。

（○はいくつでも）

- 1 特にしていない
- 2 地縁的な活動に関するグループ・団体（自治会、町内会、青年団など）
- 3 ボランティア、NPO法人、市民活動に関するグループ・団体
- 4 行政機関、学校教育機関、医療福祉機関でのボランティア
- 5 その他のグループ・団体（具体的に ）

問33. あなたは、現在のNPO法人で活動する前から、ボランティアなどの社会貢献活動を行っていましたか。(○は1つ)

- 1 自主的に活動していた
 2 学校や会社の取り組みで経験した
 3 活動していない(現在のNPO法人がはじめて) → 問34へお進みください

【1、2を選択した方にうかがいます。】

付問 これまで活動していた期間はどれくらいですか。(○は1つ)

- 1 1か月未満
 2 1か月以上～1年未満
 3 1年～3年未満
 4 3年以上

【全員の方にうかがいます。】

問34. 今後、NPO法人での活動についてどのような見通しを持っていますか。(○は1つ)

- 1 可能な限り、現在のNPO法人で活動を続けたい
 2 ある一定期間だけ、現在のNPO法人で活動を続けたい
 3 他に活動拠点を移したい
 4 活動をやめたい

付問. 現在のNPO法人で活動を続ける期限が決まっている場合は、その具体的な時期をお答えください。そうでない場合は、およそ何歳頃まで活動を続けたいかをお答えください。

西暦 20 年まで、あるいは、 歳頃まで

【全員の方にうかがいます。】

問35. 次の(a)～(d)の各項目について、あなたはどの程度満足していますか。(○はそれぞれ1つ)

		満足 している	まあ満足 している	やや不満 である	不満 である	該当 しない
(a) 現在のNPO法人での活動	⇒	1	2	3	4	
(b) NPO法人以外の仕事	⇒	1	2	3	4	5
(c) 住んでいる地域	⇒	1	2	3	4	
(d) 生活全体	⇒	1	2	3	4	

IV あなた自身のことについて

F1. あなたの性別は何ですか。(○は1つ)

- 1 男性 2 女性

F2. あなたの現在(調査時点)の年齢を教えてください。

歳

F3. あなたは、結婚していますか。(○は1つ)

- 1 未婚 2 既婚(事実婚を含む) 3 離死別

F13. あなたが、現在の NPO 法人で加入している社会保障等はどれですか。(○はいくつでも)

- 1 雇用保険 3 厚生年金 5 いずれも加入していない
2 健康保険 4 ボランティア保険など 6 わからない

F14. 東日本大震災で、あなた自身やご家族・ご親戚等は被災しましたか。(○はいくつでも)

- 1 自分自身が被災した 3 誰も被災していない
2 家族・親戚、親しい知人の中に被災した人がいる

F15. 昨年(2013年)1年間の「①現在の NPO 法人からのあなたの収入」、「② ①以外の仕事によるあなたの収入」、「③世帯全体の収入」は、およそどのくらいでしたか。(○はそれぞれ1つ)

	①現在の NPO 法人からの収入	② ①以外の仕事によるあなたの収入	③世帯全体
なし(0円)	1	1	
50万円未満	2	2	1
50～100万円未満	3	3	2
100～150万円未満	4	4	3
150～200万円未満	5	5	4
200～250万円未満	6	6	5
250～300万円未満	7	7	6
300～400万円未満	8	8	7
400～500万円未満	9	9	8
500～700万円未満	10	10	9
700～1,000万円未満	11	11	10
1,000～1,500万円未満	12	12	11
1,500万円以上	13	13	12

F16. 昨年(2013年)1年間にあなたが現在の NPO 法人に納めた会費と寄付した額はいくらですか。(実績がない場合には「0」をご記入ください。)

会費 _____円 寄付額 _____円

F17. あなたは、東日本大震災に関連して、総額でどのくらい寄付をされましたか。(現在の NPO 法人への寄付、それ以外への寄付もすべて含めてください)

寄付額(総額) _____円

F18. NPO 法人で働きたい、活動したいと考える後進の方へアドバイスするなら、どのようなことが考えられますか。ご自由にお書きください。

お忙しい中、ご協力本当にありがとうございました。7月25日(金)までに、
もう一方の調査票と共に返信用封筒に入れ、切手を貼らずに投函してください。

さらなるご活躍をお祈りいたしております。

有給職員・ボランティア対象

「NPO法人の活動と働き方に関する調査」WEB調査アクセス方法のご案内

このアンケート調査は、NPO法人で活動する有給職員とボランティアの皆様へ、活動内容や意識をおききします。今後の政策立案や提言を行うための基礎資料の作成および学術研究を目的としております。ご回答頂きました内容は、すべて統計的に処理し、情報が他に漏れることは一切ございません。ありのままをお答えいただけましたら幸いです。**当調査はWEB上からの回答となっています。**下記の手順に従い、

7月25日（金）までにアンケート調査へご協力のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

<WEB調査へのアクセス方法>

- ① インターネットの画面上で、下記URLを直接入力してください。

<http://www.jil.go.jp/r>

※あるいは、「JIL」で検索し、独立行政法人労働政策研究・研修機構のHPにアクセスの上、当機構のURL <http://www.jil.go.jp> の末尾に「r」を入力してください。

- ② 画面の案内に従って、下記の「あなたのシリアルナンバー」を入力してください。調査がはじまります。

あなたのシリアルナンバーは、

10001a3

<p>【WEBアクセス、実査内容についての問い合わせ】 株式会社日本リサーチセンター 調査部 萩原 （当調査の実査・集計業務を委託されています。） フリーダイヤル：0120-921-409 受付時間：9：00～18：00（土日祝日を除く）</p> 	<p>【調査の趣旨・目的についての問い合わせ】 独立行政法人労働政策研究・研修機構 小野、古俣 （厚生労働省所管の法人で、調査活動・政策研究を行っています。） 電話：03-5991-5147、03-5991-5014 受付時間：10：00～12：00、13：00～17：00（土日祝日を除く）</p>
---	---